

カリキュラム・マップ

法学部の教育目的
法学・政治学の素養を基礎として、法曹・行政・企業・ジャーナリズム・政治・NPO・教育など多様な分野でリーダーシップをとり、社会や組織の形成と発展を担うことができる人材を育成する。そのために必要な知識・技能・倫理を総合的に高める教育を実践する。

学修成果
「学士(法学)」及び「学士(政治)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ①法学と政治学に関する基本的な知識を習得している。(2.「専門性」と関連) ②その知識に基づき、現実の社会を理解する基礎的な技能を習得している。(1.「リベラルアーツの素養」、4.「キャリア展望を確立する力」及び8.「国際性」と関連) ③偏見を持たずに多様な価値を尊重できるなど、高い倫理を備えている。(3.「自己を理解し発展させる力」及び5.「他者を理解する姿勢」と関連) ④これらの知識・技能・倫理を統合して、自ら表現することができる。(6.「表現力」、7.「リーダーシップ」及び9.「社会的実践力」と関連)

※()内は「立教大学学士教育課程の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
法学入門	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	1～4	法学の初学者が、法学における基本的な思考方法を習得する。	◎	◎	◎	○
政治学入門	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	1～4	政治学の基礎を学習し、政治学の各分野を学ぶ上で必要な知識や思考方法を身につける。	◎	◎	◎	○
憲法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
憲法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民法概論	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
刑法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
刑法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
商法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
商法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
商法(3)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
商法(4)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
倒産法	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民事執行・保全法	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際私法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際私法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際ビジネス法総合・基礎	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○
国際ビジネス法総合1A	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○
国際ビジネス法総合1B	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○
国際ビジネス法総合2	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	3・4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
労働法	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
経済法1	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
経済法2	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際経済法1	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	グローバル化の進む現代における私人・私企業間の国際的な紛争の解決方法の基本構造を習得する。	◎	◎	◎	○
国際経済法2	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	グローバル化の進む現代における私人・私企業間の国際的な紛争の解決方法の基本構造を習得する。	◎	◎	◎	○
租税法1	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
租税法2	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
知的財産法	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
英米法1	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	英米法、特にアメリカの法制度と法文化について基礎的な知識を身につける。	◎	◎	◎	○
英米法2	選択科目 (国際ビジネス法学科A)	2～4	英米法、特にアメリカの法制度と法文化について基礎的な知識を身につける。	◎	◎	◎	○
比較憲法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	日本がモデルとした諸国の憲法制度の情報を得て、日本国憲法の理解を深める。	◎	◎	◎	○
行政法1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
行政法2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際法1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際法2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
環境法1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
環境法2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民法(3)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民法(4)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
金融取引法1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
金融取引法2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民事訴訟法(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
民事訴訟法(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
国際民事手続法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
刑事訴訟法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
刑事学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	刑事政策について、実証研究の観点から考える力を身に付け、刑事政策に関する実証論文を読み解ける。	◎	◎	◎	○
少年法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
社会保障法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
法哲学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	法哲学的な思考が身に付く。	◎	◎	◎	○
法社会学1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	法現象の法社会的なとらえ方と分析の仕方、法過程に関する基本的な視点と知識が身に付く。	◎	◎	◎	○
法社会学2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	司法制度、とりわけ、法律家について、制度と実態の双方につき、法社会的な視点と基本的な知識を得る。	◎	◎	◎	○
比較法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	契約法の比較を通じて、日本法がヨーロッパ法から受けた影響、現在の特色等について講義を行い、日本法を相対化して理解できる。	◎	◎	◎	○
外国法(中国法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○
外国法(フランス法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○
外国法(ドイツ法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○
外国法(ラテン・アメリカ法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○
外国法(EU法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○
法制史(西洋法制史)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	現代日本法の歴史的基礎となっている西洋法の歴史について基礎的な理解を得、あわせて現代法に対する批判的な目を養う。	◎	◎	◎	○
法制史(東洋法制史)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	東洋、特に中国における法の歴史の特色について理解を深める。	◎	◎	◎	○
法制史(日本法制史)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	特に近世における日本の法の歴史の特色について理解を深める。	◎	◎	◎	○
法政ゲートウェイ講義(公務入門)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○
法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○
法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○
法政ゲートウェイ講義(金融入門)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○
Negotiation Basics	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	交渉の技法についての基礎的な理解を得る。	○	◎	◎	◎
Introduction to Legal Studies A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	法学の初学者が、法学における基本的な思考方法を習得する。	◎	◎	◎	○
Introduction to Legal Studies B	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	法学の初学者が、法学における基本的な思考方法を習得する。	◎	◎	◎	○
Contract A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Contract B	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Torts	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(信託法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(金融商品取引法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
法学特殊講義(地方自治法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(スポーツと法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Civil Procedure	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Corporate Law A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Corporate Law B	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Dispute Resolution	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Moot Court	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(Comparative Family Law)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
International Business Law A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
International Business Law B	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(立法学)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
Cross-Border Litigation	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(Comparative Constitutional Law)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(企業のビジネス戦略と契約実務)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
現代政治理論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	現代の政治で主要な問題と考えられている事柄について、いかなる理論的な思考がなされているかを理解する。	◎	◎	◎	○
国際政治	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	国際政治の基本的な知識や学問的な分析方法を体系的に学び、今日の複雑な国際政治について分析したり、説明したりする能力を身につける。	◎	◎	◎	○
行政学1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	主権者(制度論)・消費者(政策論)・納税者(管理論)という3つの視点から行政を理解し、改革の処方箋の当否について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
行政学2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	主権者(制度論)・消費者(政策論)・納税者(管理論)という3つの視点から行政を理解し、改革の処方箋の当否について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
日本政治論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	現代の日本政治の構造とダイナミズムを理論や比較を用いながら理解し、自ら分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
ヨーロッパ政治論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	ヨーロッパ政治の多様性とEU統合などの現代の変化を比較や歴史の視座を交えながら理解する。	◎	◎	◎	○
アメリカ政治論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	建国以来のアメリカの政治・外交に関する基本的な知識を習得し、現状について分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
アジア政治論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	中国をはじめとするアジア政治の構造と変化を理解し、分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
日本政治史	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	政治史を中心に外交や経済、社会など日本の歴史を学ぶことを通じて、過去から未来に貫く歴史的連鎖の中で現在の日本政治を理解する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
日本政治思想史(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	19世紀以降の日本および東アジアの政治思想に関する基本的な知識を習得し、歴史的に政治思想を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
日本政治思想史(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	19世紀以降の日本および東アジアの政治思想に関する基本的な知識を習得し、歴史的に政治思想を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
欧州政治思想史	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～4	ヨーロッパが積み重ねてきた政治に関する知的伝統を学び、人間と世界の現在のあり方について批判的に考察する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
政治社会学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	さまざまな現実的題材をとりあげながら、社会との関係において政治を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
政治過程論(1)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2~4	選挙、政党、メディアなどについて学び、政治を過程(プロセス)として把握する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
政治過程論(2)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2~4	選挙、政党、メディアなどについて学び、政治を過程(プロセス)として把握する能力を身につける。	◎	◎	◎	○
比較政治理論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	比較政治に用いられる分析枠組みとしての理論を学び、それを通じて現代政治を理解する能力を高める。	◎	◎	◎	○
公共政策論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	日本を対象として取り上げながら政策に関する理論的なアプローチを学び、政策を分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○
地方自治	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	地方分権改革によって変容した日本の自治体について学び、地方自治のあり方について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
比較政治1	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○
比較政治2	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○
比較政治3	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○
日本外交論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	現代の日本外交を取り巻く国際環境や外交政策、今後の課題などについて理解を深める。	◎	◎	◎	○
国際政治史	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	二度の世界大戦と米ソ冷戦など現代の国際政治を歴史の観点から学び、歴史の視座から国際政治を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
平和研究	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	グローバル化に伴い複雑化する現代の戦争にどう対処し、平和を創出していくのかを、国連の活動を軸に学ぶ。	◎	◎	◎	○
環境政治	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2~4	環境問題をめぐる政治に規範的考察と実証的考察との両面からアプローチし、その特質を理解する。	◎	◎	◎	○
会計学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	財務諸表の作成方法を規定する会計制度と、それを支える会計理論の体系である財務会計論について学ぶ。	○	◎	◎	○
財政学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	財政の役割や構造、それを支える理論、現代財政の問題点などについて理解を深める。また、日本における財政制度の特徴、最近の収支状況、直面する課題および問題点について理解を深め、これからの財政を考える能力を身につける。	○	◎	◎	○
社会政策論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	社会政策(社会保障)の諸制度・理論について学ぶ。また、現物給付中心の社会保障制度である健康保険と介護保険について学び、今後の社会政策について思考する能力を身につける。	○	◎	◎	○
経済原論	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2~4	近年の日本経済・世界経済を題材として、経済学の基礎的な考え方を習得する。初歩的な経済学理論を学び、経済統計の読み方を学ぶ。	○	◎	◎	○
統計学	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1~4	データに基づく客観的な実証・推論の手段を与える集団の科学としての統計学を学習し、データの見方、使い方を身につける。	○	◎	◎	○
社会調査法	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1~4	社会の多面的な実態を、実践的に把握・分析・理解するための方法論的基礎を習得する。	○	◎	◎	○
社会科学情報処理	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2~4	収集した社会調査データを分析するための能力を養うとともに、法学を学ぶ上で必要不可欠な論理的思考能力を鍛錬する。	○	◎	◎	○
キャリア意識の形成	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2	将来の進路を決定するに際して必要な情報を身につける手がかりを得るとともに、法学部での学習を存分に生かしてキャリアを形成するための方法について自覚する機会を得る。	◎	◎	◎	○
キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2・3	業界分析・企業分析・自己分析を行い、社会への理解を深めるとともに、民間企業で働く上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎
自治体長期インターンシップA	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	地方自治体の現場にて長期の就業経験を積むことにより、行政実務に従事する上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎
自治体長期インターンシップB	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	地方自治体の現場にて長期の就業経験を積むことにより、行政実務に従事する上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎
公務基礎演習	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1	行政に関する基礎的な理論を学ぶことにより、公務に対する関心を高め自ら学ぼうとする姿勢・態度を身につける。	◎	◎	○	○
公務実践演習(文部科学行政)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	行政実務家(文部科学省)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎
公務実践演習(人事行政)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	行政実務家(人事院)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎
公務実践演習(金融行政)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	行政実務家(金融庁)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
公務実践演習(パブリック・マネジメント)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	行政実務家(総務省)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎
法学特殊講義(西オーストラリア大学短期研修)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	1～3	西オーストラリア大学に3週間滞在し、現地の教員から法学を中心とする英語による講義を受けるとともに、オーストラリアの文化に触れたり学生との交流も行う。	◎	◎	◎	◎
法学特殊講義(国際環境法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	○	◎	◎	○
Anglo-American Law A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Anglo-American Law A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Labor Law	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Property	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Intellectual Property Law	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Competition Law	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Fiduciary Law	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Financial Law	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○
Advanced Legal Writing A	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	契約書の作成、分析を行う能力や意見書や裁判所提出書面を作成する能力など、実践的な法的文書作成能力を習得する。	◎	◎	◎	◎
Advanced Legal Writing B	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	契約書の作成、分析を行う能力や意見書や裁判所提出書面を作成する能力など、実践的な法的文書作成能力を習得する。	◎	◎	◎	◎
法学特殊講義(Online Dispute Resolution)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(Criminal Procedure)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(子ども法—理論と実践)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(多文化共生と法—理論と実践)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(Securities Regulations)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(ITと法)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○
政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多角的分析)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	ロシア・ウクライナ間で生じた戦争の歴史的背景や、今後この戦争が国際秩序・国際関係にどのような影響をもたらすのかを多角的に分析し理解を深める。	◎	◎	◎	○
政治学特殊講義(パブリック・マネジメント論)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	3・4	パブリック・マネジメントに関する理論と実務を学ぶことにより、行政全般に共通する管理事象を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○
海外研究論文	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	問題発見能力および論文作成能力を身につける。	◎	◎	◎	◎
合同講義(オックスフォード・サマープログラム)	選択科目 (国際ビジネス法学科B)	2～4	オックスフォードに4週間滞在し、現地の教員からイギリスの基本的法律科目と西洋古典について入門的ながら先端的な内容を学ぶ。	◎	◎	◎	◎
基礎文献講読	選択科目 (演習系科目)	1	文献や資料の収集方法・プレゼンテーションの作法・レポート作成の方法・読解力・論理的思考力を身につける。	◎	◎	◎	◎
法学基礎演習	選択科目 (演習系科目)	1	担当教員が設定したテーマに関して基本的な理解を得るとともに、法律学的な思考方法を身につける。	◎	◎	◎	◎
政治学基礎演習	選択科目 (演習系科目)	1	担当教員が設定したテーマに関して基本的な理解を得るとともに、プレゼンテーション能力を高める。	◎	◎	◎	◎
演習	選択科目 (演習系科目)	2～4	担当教員が設定したテーマについて、より深い理解を得るとともに、プレゼンテーション能力を高める。	◎	◎	◎	◎

法学部国際ビジネス法学科のカリキュラム				法学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
科目名	科目区分	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得
法政外国語演習	選択科目 (演習系科目)	2~4	担当教員が設定したテーマに即した文献の講読やディスカッションを通じて、外国語の運用能力を高める。	◎	◎	◎	◎
憲法発展演習	選択科目 (演習系科目)	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
民法発展演習	選択科目 (演習系科目)	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
商法発展演習	選択科目 (演習系科目)	2~4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
刑法発展演習	選択科目 (演習系科目)	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
民事訴訟法発展演習	選択科目 (演習系科目)	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
刑事訴訟法発展演習	選択科目 (演習系科目)	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
行政法発展演習	選択科目 (演習系科目)	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎
演習論文	選択科目 (演習論文)	2~4	論文作成能力を身につける。	◎	◎	◎	◎
情報処理入門	自由科目	1	基本的な情報処理に関する知識や技術を身につけるとともに、情報倫理等の理解を深める。	△	○	○	○
日本史概説	自由科目	1~4	日本史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	△	○	○	○
世界史概説	自由科目	1~4	世界史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	△	○	○	○
哲学概論1	自由科目	1~4	西洋哲学に即して哲学的思考を理解し、説明できる能力を身につける。	△	○	○	○
哲学概論2	自由科目	1~4	東洋哲学に即して哲学的思考を理解し、説明できる能力を身につける。	△	○	○	○
宗教思想1	自由科目	1~4	現在のわれわれの知の枠組みを決定した近代の西欧思想に触れ、その中で宗教の問題を捉え直し、理解を深める。	△	○	○	○
宗教思想2	自由科目	1~4	現代の宗教思想を学び、現代社会と宗教思想との関係について理解を深め、考える能力を身につける。	△	○	○	○
地理学概説1	自由科目	1~4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解を深める。	△	○	○	○
地理学概説2	自由科目	1~4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解を深める。	△	○	○	○
自然地理学1	自由科目	2~4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識を高める。	△	○	○	○
自然地理学2	自由科目	2~4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識を高める。	△	○	○	○
地誌学1	自由科目	1~4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解を深める。	△	○	○	○
地誌学2	自由科目	1~4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解を深める。	△	○	○	○
心理学1	自由科目	1~4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと、「心」の様々な側面について理解することにより、自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	△	○	○	○
心理学2	自由科目	1~4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと、「心」の様々な側面について理解することにより、自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	△	○	○	○
哲学的人間学	自由科目	2~4	学生は哲学の立場から人間学を学ぶことを通して、人間理解を深める。	△	○	○	○
倫理思想	自由科目	1~4	バイオエシックスの問題をキリスト教を中心に、さまざまな宗教的視点から分析していく。バイオエシックスに関する自分の考えを構築する力を身につける。	△	○	○	○
現代倫理	自由科目	2~4	現代社会における倫理的諸問題について学びつつ、それについて考察し意見を述べる力を身につける。	△	○	○	○